



## ニューファーマーズ研修

### 1 目的

Uターン就農者（農家出身）・新規参入者（非農家出身）を対象として、**円滑に就農できるよう農業経営に必要な基礎的知識・技術などを習得するための研修**を実施します。

### 2 受講資格

心身ともに健康で、愛知県内で農業経営（**農業所得概ね200万円以上**）を目指す方で、原則、**概ね18歳以上40歳未満**の方（平成24年4月1日現在）。

ただし、**概ね55歳以下の方で、農業経営に必要な農地を所有している方又は借地できる見込みがある方であれば、受講できます。**

### 3 定員 20名

### 4 研修期間

平成24年4月27日（金）から平成25年2月25日（月）までの約10か月間。

### 5 専門コース

花きコース、作物コース、果樹コース、野菜コース

### 6 研修内容

講義・演習等（計30日間）及び実習。詳細は、研修カリキュラムを参照してください。

※ 実習に関する注意

実習は、次の**2つからどちらかを選択**してください。

- (1) 自己ほ場（研修生のほ場）
- (2) 先進農家（研修生で選定）

### 7 申込み方法及び注意事項

#### (1) 提出書類等

農林水産事務所農業改良普及課（以下「農業改良普及課」という。所在地等は別紙参照。）の同意（意見書）を得ることが必要ですので、就農予定地（未定の場合は居住地）を所管する農業改良普及課へ次の**アからウの書類等**を提出してください。

ア 受講申込書【様式1】

イ 履歴書【様式2】

ウ 就農希望概要書【様式3】

(2) 受講申込書の**提出期限**は、**平成24年3月30日（金）**（農業改良普及課着）です。

(3) 実習において、「先進農家での実習」を希望する場合は、事前に農業改良普及課と相談するなどして、受け入れ農家を選定した上で、申し込んでください。

- (4) **4月13日(金)午後1時30分**より、**事前説明会**及び**面接**を実施しますので、**必ず出席**してください。**受講の可否**は、書類審査・面接等により決定し、**4月20日(金)**までに**本人に連絡**します。
- (5) 受講が決定した方は、**必ず各自で傷害保険・傷害共済等**に加入してください。研修中の事故について、当校は一切の責任を負いません。
- (6) **受講料は無料**ですが、教材費・作業着等は研修生の負担となります。  
(教材費等の自己負担予定額 約16,000円)
- (7) 研修生が定員に満たなかった場合、平成23年度研修修了者及び受講資格を満たす方から**聴講生(講義の聴講だけの受講)**の申込を随時受け付けます。なお、聴講生も研修生に準じた受講手続きが必要です。

## 8 修了要件

次の2つの条件を満たした場合は、修了証書を授与します。

- (1) 履修時間の8割以上を受講
- (2) 就農のための経営計画書を提出

## 9 研修場所

愛知県立農業大学校(最寄り駅 名鉄 美合駅下車徒歩10分)

岡崎市美合町字並松1-2

## 10 連絡先

愛知県立農業大学校研修部研修科生涯学習グループ(石代)

電話:0564-51-1034(研修部直通)

FAX:0564-51-4831

●研修カリキュラム

基本的には、これまで農業に関わる実務的な教育を受けていない人を対象とした**基礎的な内容**です。講義・演習・校外学習は、原則として、火曜日又は木曜日のいずれかに行います。

区 分 ・ 科 目	時間	内 容	対象		
行事等	開 講 式	3.0	校長あいさつ、オリエンテーション、自己紹介	全コース	
	就 農 支 援	36.0	就農経営計画作成、プロジェクト、個別面談等		
	発 表 会 ・ 閉 講 式	6.0	校長あいさつ、就農経営計画・プロジェクト発表、修了証授与		
	<b>履修時間小計</b>	<b>45.0</b>	<b>日数換算 7.5 日</b>		
学 科	講義	農業情勢と愛知県の農業	3.0	世界の食料事情と日本の農業情勢、愛知県の農業の特色	全コース
		農 業 と 環 境	3.0	農業が環境に与える影響、環境に配慮した農業生産	
		農 産 物 の 流 通	3.0	農産物の流通経路、市場システム	
		農 作 業 安 全	1.5	農作業事故の発生原因と防止対策	
		農 業 経 営 の 基 礎	6.0	農業経営の概念、経営計画、経営管理、決算書	
		農 業 簿 記 の 基 礎	6.0	仕訳帳の基礎、決算処理、棚卸台帳、減価償却表の作成	
		税 制 の 基 礎	6.0	所得税、消費税、相続税、固定資産税の概要、青色申告	
		農産物のマーケティング	3.0	マーケティングの概念、構成要素、経営戦略	
		経 営 ( 財 務 ) 分 析	3.0	複式簿記の意義、経営分析、会計と税務、分析の方法	
		農 業 情 報 の 利 用	3.0	農業情報の収集、分析、利用、発信	
		食 育 概 論	3.0	食育の概念、健康増進、食事バランスガイド、野菜の効用	
		農産物のカラーコーディネート	3.0	色彩の基礎、言葉(イメージ)と色の関係、配色の基礎	
		相 手 に 伝 え る 話 し 方	3.0	わかりやすい話し方のポイント、聴き方、言葉の選び方	
		先 輩 農 業 者 か ら の 提 言	3.0	農業者の思い、日本農業の実体と課題、将来展望	
		プ ロ ジ ェ ク ト 活 動 の 意 義 と 進 め 方	1.5	プロジェクト活動の意義、展開過程、種類、効果	
		植 物 生 理	9.0	植物の構造、植物と無機栄養、光合成、植物の成長	
		雑 草 防 除	3.0	雑草の種類と生態、除草技術	
		病 害 虫 の 診 断 と 防 除	9.0	農作物の病害と診断・防除	
			9.0	農作物の害虫と診断・防除	
		農 薬 の 正 し い 使 い 方	3.0	農薬の基礎知識、ポジティブリスト制度、安全使用	
		土 壌 肥 料	6.0	土壌の生成・種類・構成、土壌の物理的・化学的性質	
			6.0	肥料と施肥、作物・土壌条件に見合った施肥設計技術	
		環 境 保 全 型 農	3.0	土づくり、減化学肥料栽培技術	
		3.0	病害虫の発生予察、減農薬栽培技術		
	農 業 気 象	3.0	農業気象の基礎		
	演習	土 壌 診 断	6.0	土壌診断の基礎、サンプリング、分析・診断	
	講義	花 き 栽 培 概 論	12.0	花き栽培の基礎	花き
		花 き 栽 培 各 論	12.0	花き栽培の実用的技術	作物
		作 物 栽 培 概 論	12.0	作物(水稻、麦、大豆)栽培の基礎	
		作 物 栽 培 各 論	12.0	作物(水稻、麦、大豆)栽培の実用的技術	
		果 樹 栽 培 概 論	12.0	果樹栽培の基礎	果樹
		果 樹 栽 培 各 論	12.0	果樹栽培の実用的技術	野菜
		野 菜 栽 培 概 論	24.0	野菜栽培の基礎、野菜栽培の実用的技術	
<b>履修時間小計</b>	<b>135.0</b>	<b>日数換算 22.5 日</b>			

区	分	科	目	時間	内	容	対象
学	講義	農地	農地制度の基礎	1.5	農地の現状、制限事項、農地の貸借		希望者
			農業金融制度の概要	1.5	制度資金の種類と目的、種類別の利用方法		
			就農支援制度の概要	3.0	新規就農者の動向、就農計画認定制度、就農支援資金		
			新規就農するためのノウハウ	3.0	意志決定、就農準備、計画、農地の取得、就農後のこと		
			市町村における就農支援	1.5	豊田市における事例(農ライフ創生センター)		
			新規就農者の経験談	3.0	就農準備、就農後の実情、農業への思い		
			専門高度化	24.0	花(2回)・作物(1回)・果樹(2回)・野菜(3回)の栽培等に関する最新の専門的な知識・技術		
	演習	パソコン	による農業簿記	9.0	パソコンによる農業簿記の実務		
			農産物販売のためのホームページの作成	9.0	農産物販売のための上手な写真の撮り方とホームページの作成		
			売り上げを伸ばすラベルの工夫	3.0	農産物販売のための上手なPR資料の作り方		
履修時間小計				0.0	日数換算 0.0 日 (ただし、希望者分は含まず)		
校外学習	研修部・校外学習		(30)	先進農家(農業法人・新規就農など)、農業総合試験場など		希望者	
	花き専攻・校外学習		(24)	先進農家(鉢物・切花など)など			
	作物専攻・校外学習		(24)	先進農家(農業法人など)、カントリーエレベータなど			
	果樹専攻・校外学習		(24)	先進農家(ナシ・イチジク・ブドウ・カキ・ミカンなど)など			
	野菜専攻・校外学習		(24)	先進農家(メロン・キュウリ・ナスなど)など			
履修時間小計				0.0	日数換算 0.0 日 (ただし、希望者分は含まず)		
合計				180.0	日数換算 30.0 日 (ただし、希望者分は含まず)		
実習	どちらか選択	自己ほ場	900.0	自己ほ場で実習		全コース	
		先進農家	900.0	先進農家で実習(ただし、先進農家は各自で選定する。)			
	目標履修時間合計				900.0		日数換算 150.0 日
資格・免許等	資格	大特免許	18.0	大型特殊免許(農耕車限定)取得のための講習 <b>(別に試験を受ける必要あり)</b>		希望者	
	技能	大特トラクタ作業	24.0	耕起作業等作業機の操作方法及び農業機械の構造、整備等の知識習得			
	資格	けん引免許	24.0	けん引免許(農耕車限定)取得のための講習 <b>(別に試験を受ける必要あり)</b>			
	技能	初心者 <small>の</small> 小型農業機械	18.0	小型機械の整備、点検、安全利用等の知識・技能習得			
	資格	小型車両系建設機械	13.0	バックホー等の知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得			
	技能	農業機械士等	12.0	農業機械利用技能に関する知識・技能の習得 <b>(大特免許などの要件あり)</b>			
	資格	アーク溶接	21.0	アーク溶接の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得			
	資格	刈払機	7.0	刈払機の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得			

注1: 午前部8:50~10:20、10:30~12:00、午後部13:00~14:30、14:40~16:10

注2: 取得可能な資格・免許等(ただし、別途受講料・手数料など必要です)  
大型特殊免許(農耕車限定)、けん引免許(農耕車限定)、小型車両系建設機械特別教育修了証、アーク溶接特別教育修了証、刈払機取扱作業安全衛生教育修了証

注3: 内容等は、都合により変更することもあります。

別紙

○受講申込書の提出先 農林水産事務所農業改良普及課の所在地及び連絡先

名 称		所 在 地	電話番号 FAX番号	管 轄 区 域
尾張農林水産事務所	農業改良普及課	〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-6-1(三の丸庁舎3階)	(052)961-8094 (052)961-1540	名古屋市、一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡
海部農林水産事務所	農業改良普及課	〒498-0003 弥富市前ヶ平 2-49	(0567)65-4312 (0567)65-2224	津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡
知多農林水産事務所	農業改良普及課	〒475-0903 半田市出口町 1-36 (知多総合庁舎2階)	(0569)21-8111 (0569)23-4260	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡
西三河農林水産事務所	農業改良普及課	〒446-0066 安城市池浦町境目 1	(0566)76-2400 (0566)76-3194	岡崎市、碧南市、刈谷市、西尾市、安城市、知立市、高浜市、額田郡
豊田加茂農林水産事務所	農業改良普及課	〒471-8566 豊田市元城町 4-45	(0565)32-7509 (0565)35-0416	豊田市、みよし市
新城設楽農林水産事務所	農業改良普及課	〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字小貝津 6-2	(0536)62-0546 (0536)62-1533	新城市、北設楽郡
東三河農林水産事務所	農業改良普及課	〒440-0833 豊橋市飯村町高山 11-40	(0532)63-3529 (0532)63-7023	豊橋市、豊川市、蒲郡市
	田原農業改良普及課	〒441-3427 田原市加治町南恩中 7-5	(0531)22-0381 (0531)23-1304	田原市

(H24.1.4 現在)

様式1

## 平成24年度ニューファーマーズ研修受講申込書

平成 24 年 月 日

愛知県立農業大学校長 殿

住所

氏名

印

愛知県立農業大学校の農業者生涯教育研修「平成24年度ニューファーマーズ研修」を受講したいので、関係書類を添えて申し込みます。

1 受講申込みの理由

2 専門コース（希望するコースどれか1つを○で囲んでください）

花きコース 作物コース 果樹コース 野菜コース

3 研修生の種別（該当する項目を○で囲んでください）

全メニュー参加 聴講生（23年度研修修了者） 聴講生（新規）

4 実習場所（該当する項目を○で囲んでください。聴講生の場合は不要。）

自己ほ場 先進農家（注）

（注）先進農家を選択した場合は、受入農家名等を記入してください。

住所

氏名（法人の場合は法人名及び代表者氏名）

5 添付書類（上記3の「聴講生（23年度研修修了者）」以外は添付してください。）

(1) 履歴書 【様式2】

(2) 就農希望概要書 【様式3】

様式 2

# 履 歴 書

年 月 日現在

写真を貼る位置

縦4cm×横3cmの  
写真を使用  
してください。

ふりがな 氏 名
-------------

年 月 日生 (満 歳)	男・女
--------------	-----

ふりがな 現住所 〒	TEL
	FAX
	携帯TEL
	E-mail (パソコン)

年	月	最終学歴・職歴等

年	月	免許・資格

家族氏名	性別	年令	家族氏名	性別	年令

その他記載事項
---------

## 就 農 希 望 概 要 書

住所：

氏名：

1 将来の農業経営の構想

2 現状の農地・施設等の所有状況

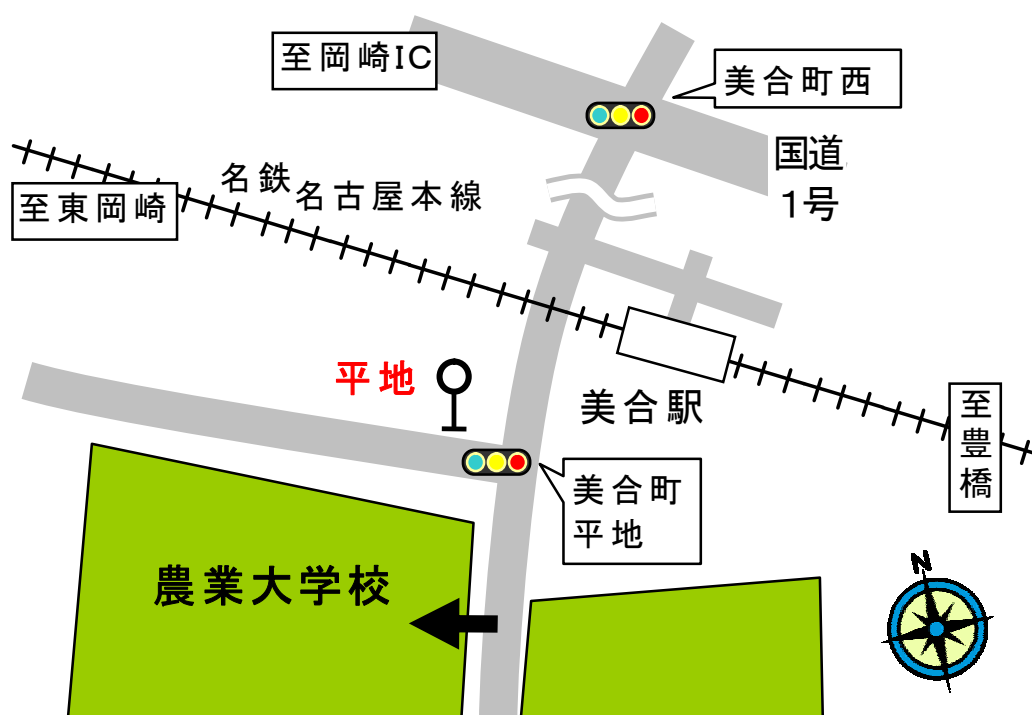
経営面積	農地（a）			施設面積（㎡）		その他（a）		
	水田	畑	果樹園	ガラス	ビニル	（      ）		
家畜頭羽数	乳用牛（頭）		肉用牛（頭）		豚（頭）		鶏（千羽）	
	成牛	育成	和牛種	乳牛種	繁殖	肉豚	採卵	肉

3 就農計画

営農部門	就農時期			年	月
就農予定地 <small>（自己所有地と借地の別）</small>	（自己所有地・借地）				
農地使用貸借方法 <small>（借地の場合のみ記入）</small>	農地法貸借 ・ 農業経営基盤強化促進法利用権設定				
就農・経営形態	個人経営 ・ 法人経営（農事組合法人、株式会社、その他）				
作目・経営規模  ・ 所得目標	作目・畜種		規模（a・頭・羽）	所得目標（万円／年）	
	現 状				
		計			
	計 画 （5年後）				
		計			
	営農部門の 農業労働力	続柄	氏 名	年 齢	年間農業従事日数
本人					



○愛知県立農業大学の交通案内



【公共交通機関利用】

○名鉄名古屋本線「美合」駅下車 徒歩約10分

○JR東海道本線「岡崎」駅下車 名鉄バス「東岡崎（庄司田・緑丘経由）」か「市民病院（庄司田・美合経由）」行きで 約20分 「平地」下車 徒歩約5分

【自家用車利用】

○東名高速道路岡崎インターチェンジから約10分

【研修場所】

中央教育棟（正門から直進した先に見える、時計台のある3階建ての建物）